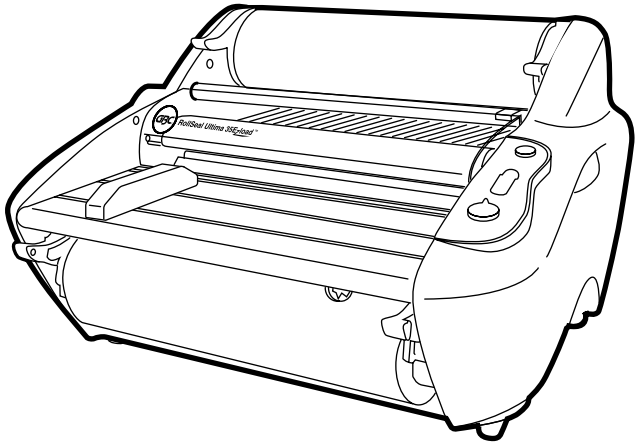
# 取扱説明書

## ラミネーター

# RollSeal™ Ultima35EZload™

品番：GLMU35EZ



日本ジー・ビー・シー株式会社
www.gbc-japan.co.jp
A Subsidiary Of ACCO Brands Corporation

〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801

## はじめに

このたびはＧＢＣラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。
ＧＢＣラミネーターは書類や印刷物の中で長期保存を必要とするものや常日頃頻繁に使用する物などの汚れ・破損を防止するためにラミネートコーティングをするものです。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

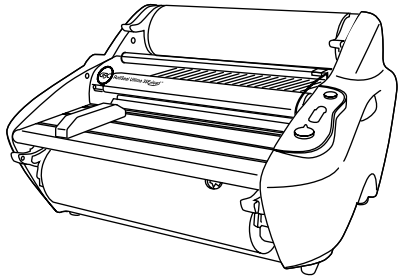
## 目　次

◆内容物の確認 …… 1
◆ご使用上の注意 …… 2
◆各部の名称と働き …… 4
◆ラミネート加工上の注意 …… 6
◆ラミネートする前に …… 7
◆操作方法 …… 8
◆フィルムの交換 …… 11
　＜フィルムの準備＞
　＜フィルムのセット＞
◆フィルム詰まりの解消 …… 15
◆お手入れ方法 …… 17
　＜ヒートシューのクリーニング＞
　＜マシンのお手入れ＞
◆こんなときは …… 19
◆製品仕様 …… 20
◆保証とサービス

# 内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。
後述の方法にしたがってセットしてご利用ください。

マシン本体



取扱説明書

# ご使用上の注意

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

## ⚠ 警告

ヒートシューおよびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一、引き込まれたときはスイッチを“オフ”にして取り除いてください。

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※けがをする恐れがあります。

マシン背面にスライドカッターがあります。指をスライドカッターの下には絶対に入れないでください。
※けがをする原因になることがあります。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

# ⚠ 注意

本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。

絶対に可燃物（セロハン等）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレン）は加工しないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。

本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム排出口側（後側）からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

冷暖房機のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ず接地接続を行ってください。電源プラグに付属する3ピンアダプターのアース線をご使用ください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

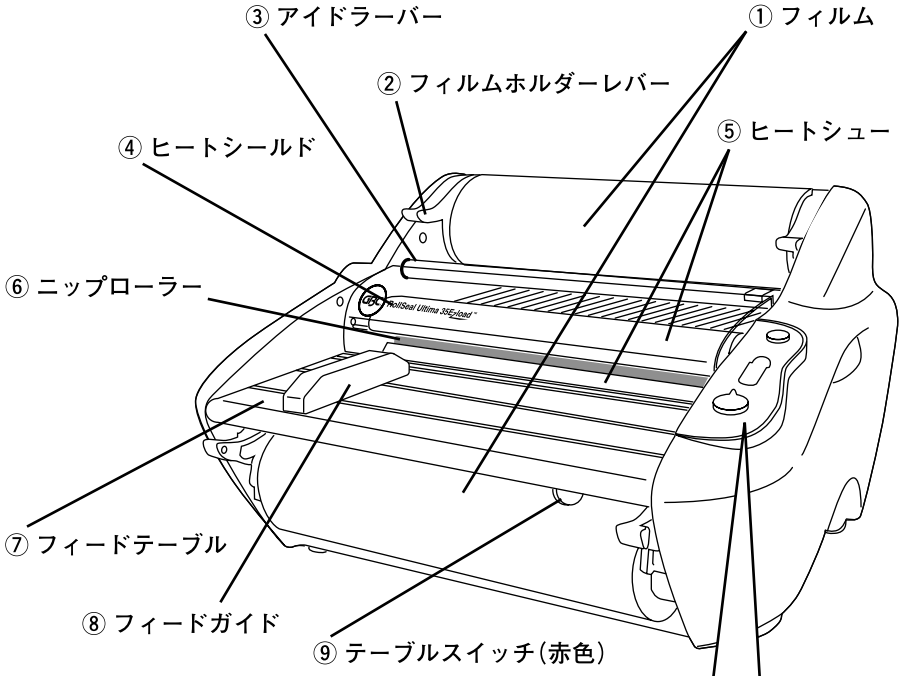
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

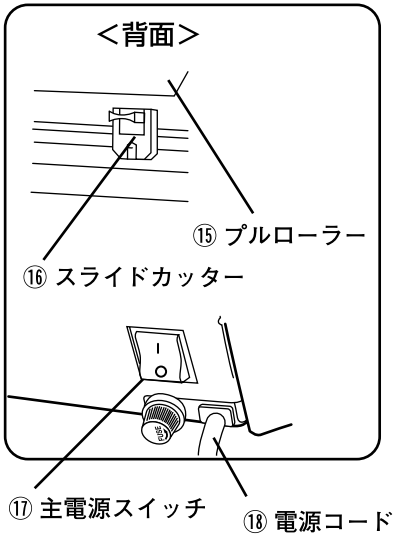
必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの傍らに物を置かないでください。

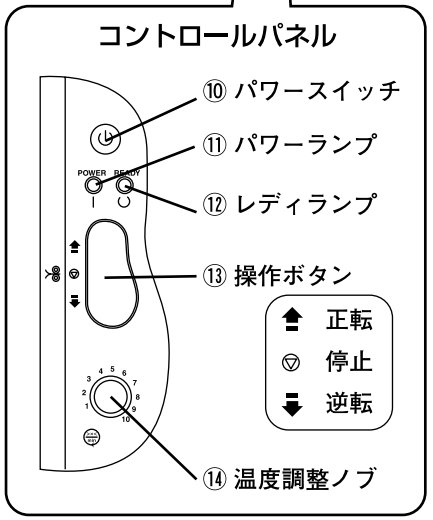
電源は必ず単独のAC100Ｖ電源をご使用ください。本機は消費電力が大きいので、タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



# 各部の名称と働き



①フィルム
セットが簡単にできる本機専用の加工用フィルムです。上下１セットで使用します。

②フィルムホルダーレバー
セットしたフィルムの左右を固定します。上側フィルム用と下側フィルム用があります。

③アイドラーバー
フィルムのしわを取り除くための補助ガイドです。下側フィルム用のアイドラーバーはフィードテーブルに付いています。

④ヒートシールド
高温になっているヒートシュー部に手などが接触することを防ぎます。

⑤ヒートシュー
フィルムの接着面を溶かします。

⑥ニップローラー
加工物とフィルムを接着させるためのローラーです。

⑦フィーダーテーブル
加工物をのせ、ヒートローラーの間に送るためのテーブルです。

⑧フィードガイド
まっすぐに挿入するために加工物の側面をこのガイドにあわせてください。加工物の大きさに合わせてガイドを持ち上げてスライドさせてください。

⑨テーブルスイッチ
テーブルスイッチを右側へ切り換えて、フィードテーブルを固定させてください。安全スイッチであり、このテーブルスイッチが正しくセットされていませんと機械は作動しません。

⑩パワースイッチ
このパワースイッチを入れて、ヒートローラーを加熱させます。このスイッチを押してオンにするとパワーランプ“赤”が点灯します。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

⑪パワーランプ
電源がオンの状態にあることをパワーランプ“赤”が点灯して知らせます。

⑫レディランプ
設定したラミネート温度に達しますと、レディランプ“緑”が点灯してラミネート可能なことを知らせます。

⑬操作ボタン
このボタンを操作してラミネーターを正転“⏫”、停止“▽”、逆転“⏬”させます。

⑭温度調整ノブ
このノブを操作して、ラミネート温度を設定します。

⑮プルローラー
ラミネートされた加工物を背面へ排出するためのローラーです。

⑯スライドカッター
ラミネートが終了して排出されたフィルムを、このカッターを押しながら左右に移動させて切り離してください。

⑰主電源スイッチ
このスイッチを押して、電源をオン・オフにします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

⑱電源コード
電源コードは必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。



# ラミネート加工上の注意

★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。

★ ステープルやクリップが付いた紙はラミネートしないでください。

★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

★ 可燃物（セロハン等）・軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレン等）は絶対にラミネートしないでください。

★ 再生することが不可能なような貴重なものはラミネートしないでください。

★ フィルムを含めて厚さ1.0mm以上になるものはラミネートしないでください。

★ 静電気により、加工完了物が逃げ場を失いローラーに巻き込まれることがありますので、フィルム排出口にフィルムが溜まらないように注意してください。

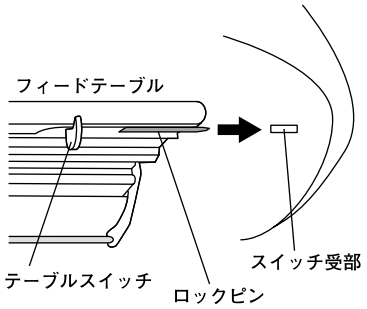
★ 機械背面は壁や障害物から少なくとも50cm以上は離してください。加工完了物が床へ垂れ下がるように設置してください。

**★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。**

# ラミネートする前に

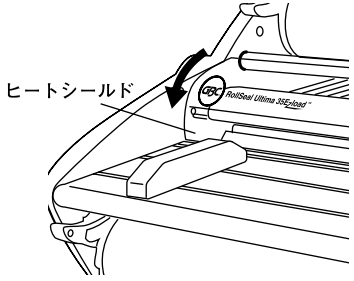
## ＜フィードテーブルスイッチ＞

★フィードテーブルをセットして、テーブル右下にあるテーブルスイッチを右側に切り換えてください。
テーブルスイッチのロックピンがスイッチ受部にきちんと入っていませんと作動しません。



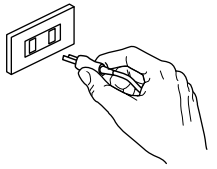

## ＜ヒートシールド＞

★安全とヒートシューの保護のため、必ずヒートシールドを閉めてください。

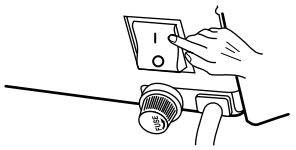



# 操作方法

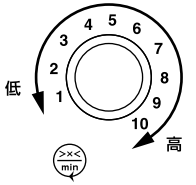
①主電源スイッチがオフ“O”になっていることを確認してください。電源コードをコンセント（AC100V）にさし込んでください。アース端子はアースターミナルのあるコンセントか、適切な接地のできる端子に接続してください。



②マシン背面にある主電源スイッチを（ｌ）側へ押して電源を入れてください。



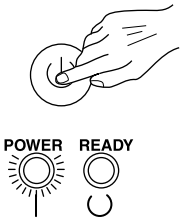
③使用するフィルム・ラミネートするものに合わせ（下表を参照）、温度調整ノブを操作して、温度を設定してください。



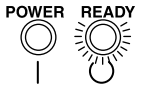

| 温度設定ガイド表 | | |
|---|---|---|
| 使用フィルム | 加　工　物 | 設定温度 |
| 42μm | コピー用紙 | 4〜6 |
| | 中　厚　紙 | 5〜7 |
| | 写真／厚紙 | 6〜9 |
| 100μm | コピー用紙 | 5〜7 |
| | 中　厚　紙 | 6〜8 |
| | 写真／厚紙 | 7〜9 |

★設定温度を下げる時は、15分以上放置してから加工してください。

④コントロールパネルにあるパワースイッチを押して電源を入れてください。
パワーランプ“赤”が点灯します。



⑤約1分後にレディランプ“緑”が点灯して、ラミネート可能なことを知らせます。



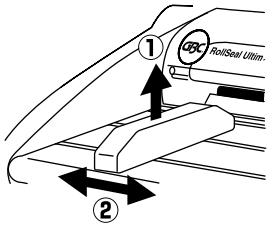

※設定温度により時間は異なります。

## ⚠ 警告

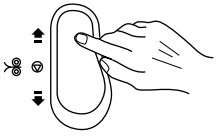
マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

**★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。**

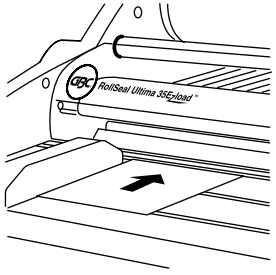
⑥ラミネートする加工物に合わせて、まっすぐ挿入できるようにフィードガイドをセットしてください。
フィードガイドは上に持ち上げながら、左右に移動させます。




⑦フィードテーブルに加工物を置き、コントロールパネルにある操作ボタンを正転“⏶”側に押してください。ローラーが作動し、フィルムが走行します。
フィルムが走り始めましたら、フィードガイドに合わせて加工物をゆっくり挿入してください。



連続して加工する場合は、先に挿入した加工物が完全にニップローラーの中に入ったことを確認してから次の加工物を入れてください。




**★この時、静電気等でフィルムが機械内部に巻き込まれないようにフィルムの先端を排出口より手で引き出してください。**

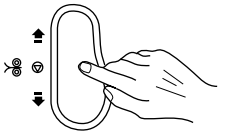
## ⚠ 警告

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。

## ⚠ 注意

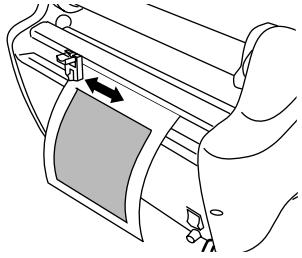
間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

⑧加工物が背面から完全に排出されましたら、コントロールパネルにある操作ボタンを停止“▽”の位置にして、ローラーの作動を停止させます。

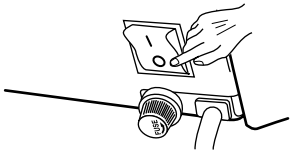


※急いで操作すると、逆転側に切り換わる場合がありますのでご注意ください。

⑨マシン背面の排出口にあるスライドカッターを押しながら切り換えて加工物を切り取ってください。



⑩加工が終了しましたら、必ずマシン背面にある主電源スイッチをオフ（O）側にして電源を切ってください。

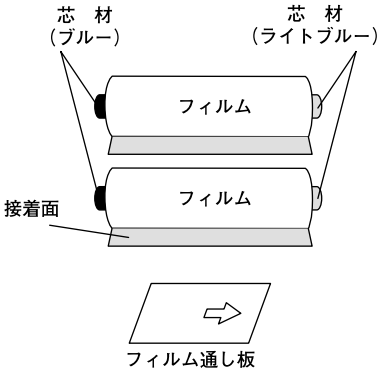


# フィルムの交換

フィルムの残量が少なくなりましたら、新しいフィルムと交換してください。
フィルムホルダーに貼ってあるカラーシールとフィルムの芯材のカラーシールを合わせることで簡単にセットすることができます。

★フィルムの交換は上下のフィルムとも同時に行ってください。
上下どちらか一方のフィルムだけで作動させますと、フィルムののり面がヒートシューに接着し、ヒートシューを汚しますので注意してください。

専用のラミネートフィルムとフィルム通し板をご用意ください。




★フィルム内面が溶けて接着される面です。フィルムのセットは機械本体のカラーシールとフィルム芯材の色を合わせてセットしてください。

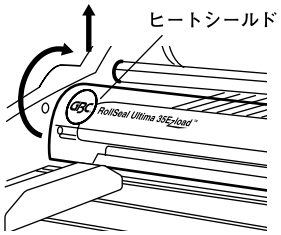


# フィルムのセット（ヒートシューが冷えている時の方法）

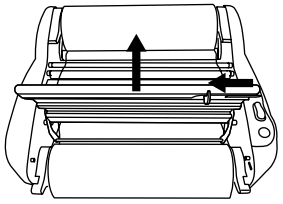
**⚠ 警告**

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

①ヒートシールドを左右どちらかに移動させ、片側を固定ピンから取り外してから他方も固定ピンから取り外してください。

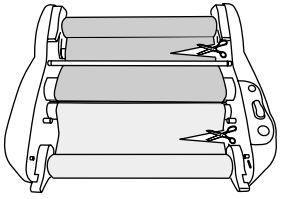



②テーブルスイッチを左へ切り換えてロックピンを外して、フィードテーブルを外してください。

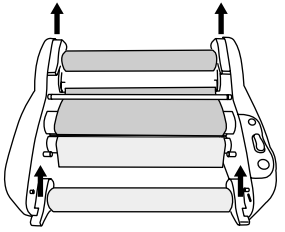


③アイドラーバー付近でカッターまたはハサミで、残った上下のフィルムを切り離してください。

※ローラーやヒートシューを傷つけないように注意してください。



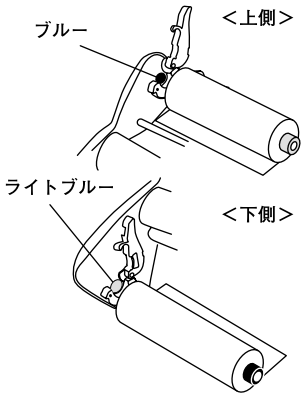
④左右のフィルムホルダーレバーを上げて、空になったフィルム芯を取り除いてください。
（上下ともに外します）



★この際に、ヒートシューの汚れチェックしてください。汚れている場合はヒートシューを柔らかい布でクリーニングしてください。
後述『ヒートシューのクリーニング』を参照してください。

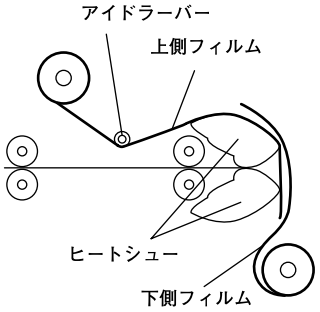
⑤フィルムホルダーの内側に貼られたカラーシールとフィルム芯材のカラーシールを合わせて、新しいフィルムをセットしてください。

上左側　ー　ブルー
下左側　ー　ライトブルー

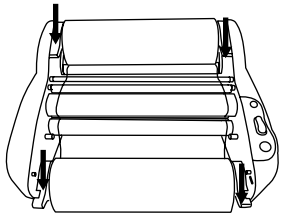



⑥上側の新しいフィルムをアイドラーバーの下を通して、下側のヒートシューまで引き出します。

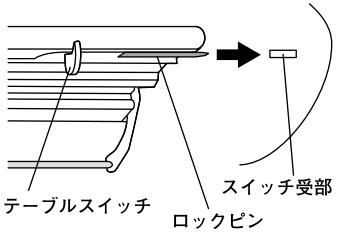
下側の新しいフィルムを上側のヒートシューまで引き出し、上側の新しいフィルムに重ねます。上下フィルムの左右を揃えます。
（下側アイドラーバーはテーブルー体型ですので正しくセットされます。）




⑦フィルムホルダーレバーを降ろして、しっかりとロックしてください。
（上下側の左右それぞれ４ヶ所）

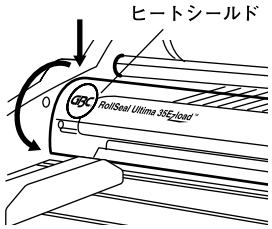


⑧フィードテーブルをセットして、テーブル右下にあるテーブルスイッチを右へ切り換えてください。
テーブルスイッチのロックピンがスイッチ受部にきちんと入っていませんと作動しません。

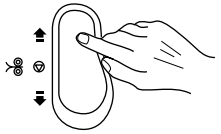


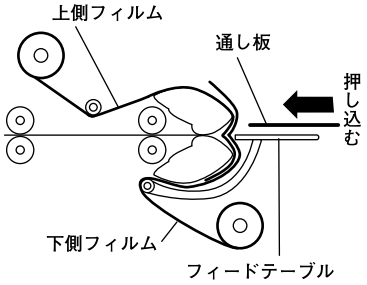



⑨ヒートシールドを左右の固定ピンに合わせてスプリングを押し込むようにセットして、ヒートシューを覆うようにしてください。

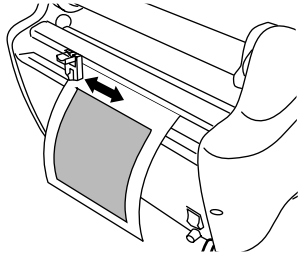



⑨コントロールパネルにある操作ボタンを正転“⏫”側に押してください。ローラーが回転します。付属のフィルム通し板を上下の重ね合わせたフィルムの中央に押し当てて、ニップローラー間に押し込んでください。フィルムが走行して背面から完全にフィルム通し板が排出されましたら操作ボタンを停止“　”の位置にして停止させます。

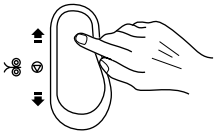





⑩排出されたフィルム通し板をスライドカッターで切り離してください。



⑪コントロールパネルにある操作ボタンを正転“⏫”側に押して、空走行させてください。フィルムのしわがなくなりましたら準備完了です。



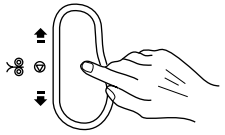
# フィルム詰まりの解消

排出部付近にスペースがなく、排出されたフィルムが自然に落下して行かないと、フィルム詰まりが起こることがあります。
下記の方法でフィルム詰まりを解消してください。

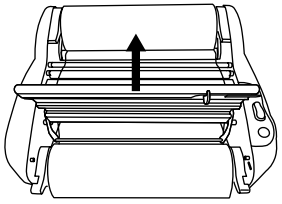
**⚠ 警告**

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

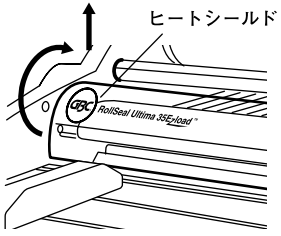
①直ちにコントロールパネルにある操作ボタンを停止“▽”の位置にして、ローラーの作動を停止させてください。



②テーブルスイッチを左へ切り換えてロックピンを外して、フィードテーブルを外してください。

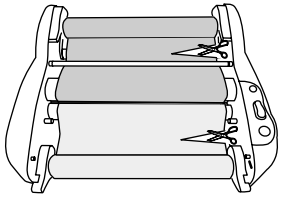


③ヒートシールドを左右どちらかに移動させ、片側を固定ピンから取り外してから他方も固定ピンから取り外してください。



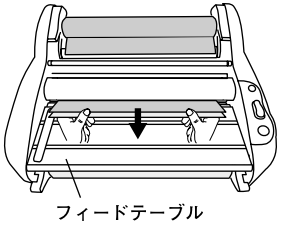

④アイドラーバー付近でカッターまたはハサミで、残った上下のフィルムを切り離してください。

※ローラーやヒートシューを傷つけないように注意してください。

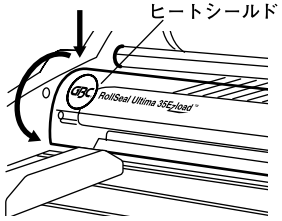




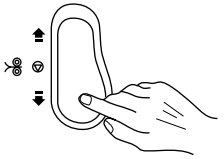
⑤切り離してヒートシュー側に残った上下のフィルムを合わせて手前に引き出し、その下にフィードテーブルをセットします。
テーブル右下にあるテーブルスイッチを右へ切り換えてください。

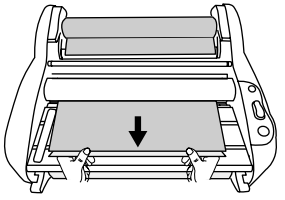



⑥ヒートシールドを左右の固定ピンに合わせてスプリングを押し込むようにセットして、ヒートシューを覆うようにしてください。

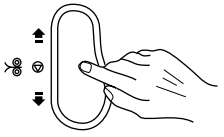



⑦コントロールパネルにある操作ボタンを逆転“▼”の位置にして、ローラーを逆転させてください。
この時、フィードテーブル上にあるフィルムを手で引き戻しながら行ってください。





⑧詰まったフィルムがフィードテーブル側に完全に排出できたら、コントロールパネルにある操作ボタンを停止“▽”の位置にして、ローラーの作動を停止させてください。



⑨前述の『フィルムセット』の手順に従って、フィルムをセットし直しください。

# お手入れ方法

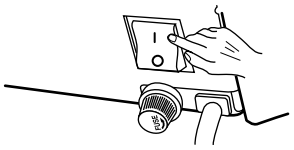
## ヒートシューのクリーニング

定期的にヒートシューの表面をクリーニングしてください。
ヒートシューの温度が上がっていませんと、汚れを拭き取ることができませんので、十分に注意を払いながら、クリーニングを行ってください。

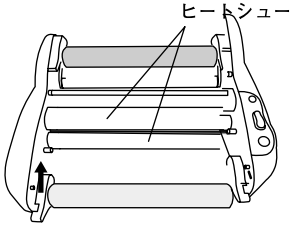
**⚠ 警告**

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

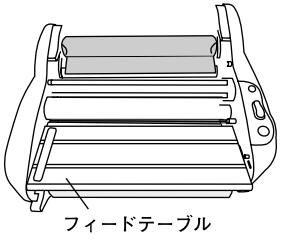
①マシン背面にある主電源スイッチを(Ⅰ)側へ押して電源を入れてください。



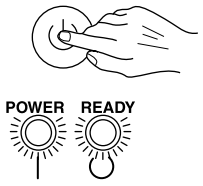
②上下のフィルムを切り離して、ヒートシューから外してください。
(前述『フィルムのセット』を参照してください)




③フィードテーブルをセットします。
テーブル右下にあるテーブルスイッチを右へ切り換えてください。



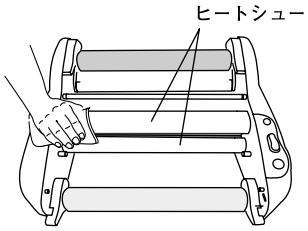

④コントロールパネルにあるパワースイッチを押して電源を入れてください。
パワーランプ“赤”が点灯します。レディランプ“緑”が点灯するまでお待ちください。





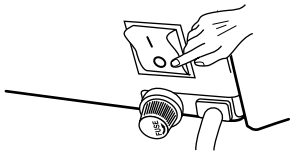

⑤レディランプ“緑”が点灯しましたら、ヒートシューの汚れをやわらかい布で拭き取ってください。
完了しましたら、フィルムをセットしてください。
(前述『フィルムのセット』を参照してください)

※スプレー溶剤などは絶対に使用しないでください。

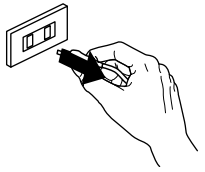



## マシンのお手入れ

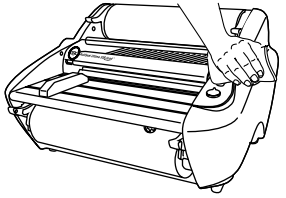
①電源スイッチをオフ“O”にして電源を切ってください。



②電源プラグをコンセント(100V)に抜いてください。



③やわらかい布でから拭きをしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

**⚠ 警告**

ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

# こんなときは

| 現　象 | 原　因 | 対処法（参照ページ） |
|---|---|---|
| 電源が<br>入らない | ◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（8ページ） |
| | ◇主電源スイッチがオンになっていますか？ | マシン背面の主電源スイッチをオンにしてください。（8ページ） |
| | ◇パワースイッチがオンになっていますか？ | コントロールパネルのパワースイッチをオンにしてください。（8ページ） |
| | ◇フィードテーブルが正しくセットされていますか？ | フィードテーブルをセットして、スイッチピンをキチンとセットしてください。（7ページ） |
| 温度が<br>上がらない | ◇適正な温度を設定しましたか？ | 温度設定ガイド表を参考にして､温度を設定してください。(8ページ) |
| 仕上がりが<br>白っぽく<br>曇っている | ◇設定温度が低すぎます。 | 温度調整ボタンを操作して設定温度を上げてください。（8ページ） |
| | ◇レディランプが点灯していますか？ | レディランプが点灯するまでお待ちください。（9ページ） |
| 加工表面が<br>波を打っている | ◇設定温度が高すぎます。 | 温度調整ボタンを操作して設定温度を上げてください。（8ページ） |
| フィルムが<br>接着しない | ◇紙以外のものを加工していませんか？ | 紙以外のものはラミネート加工をすることができません。(6ページ) |
| 加工面にしわや<br>カールができる | ◇上下に状態の違うフィルムがセットされていませんか？ | 同じ長さ、同じ厚さのフィルムを使用してください。（11ページ） |
| フィルムの表面が<br>汚れる | ◇ヒートシューのクリーニングをしていますか？ | ヒートシューをクリーニングしてください。（17ページ） |
| フィルムが排出口<br>から出てこない | ◇フィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | 直ちに主電源スイッチを切り、詰まったフィルムを取り除いてください。（15ページ） |

# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 商品名 | RollSeal™<br>Ultima35EZload™ |
| 製品コード | GLMU35EZ |
| サイズ(W) x (D) x (H) | 430 x 460 x 203 mm |
| 重量　kg | 16.0 kg |
| 投入幅 | 305 mm |
| 加工速度 | 1.0 m／分 |
| 加工温度 | 90 ～ 160 ℃ |
| ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟﾀｲﾑ | 1 分 |
| 加熱方式 | ヒートシュー |
| 電源 | 100 V, 50/60 Hz |
| 消費電力 | 850 W |

# 保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。
（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。

**修理メモ**

**お客様相談窓口　：東京本社　　03-5351-1801（代）**

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キリトリ線

# ラミネーター　保証書

| | |
|---|---|
| 品　名 | RollSeal™ Ultima35EZload™ |
| 機　種 | GLMU35 |
| 保証期間 | 1年 |
| シリアルNo. | |

| | |
|---|---|
| ★お買上げ日 | 年　月　日 |
| ★お客様 | ご芳名<br>ご住所<br>TEL　（　） |

★印欄に記入のない場合は無効となりますのでご確認ください。

| | |
|---|---|
| 販売店 | 見本<br>住所／店名<br>TEL　（　） |

GBC® 日本ジービーシー株式会社
www.gbc-japan.co.jp
A Subsidiary Of ACCO Brands Corporation
〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　パーモニーター
TEL. 03(5351)1801

GBC製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。